

10～11月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

96,283円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(用紙代・インク代)	20,750円
交通費(駐車場、燃料代)	18,269円
通信費(折込代、携帯電話代)	57,264円
支出計 25/10/1～25/11/30	96,283円

市議会議員には、月65,000円の政務活動費が支給

市政を考える

月刊武松

発行日
25/12/1

第231号

19500部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

コロナ関係補助金の返還について

3月定例会に補正予算提案、議決後返済予定

■会計検査院より補助対象外と指摘

会計検査院より、小田原市立病院に令和2年度に交付された病床確保料33億7540万円のうち**3億0417万円が過大**で、補助対象外と判断され返還することになりました。

■経緯

- 市立病院はコロナ診療の神奈川モデルに基づき、疑似症患者を中心に診療を開始。第1波到来で患者数が急増し院内クラスターが発生した。
- PCR検査の精度や結果待ちの問題から、個室・大部屋で疑似症患者を管理したが、院内感染が拡大した。その後、PCR検査機器や陰圧装置を導入し、令和2年8月にコロナ専門病棟を設置。同

年9月からは高度医療機関となり、地域のコロナ診療を担った。

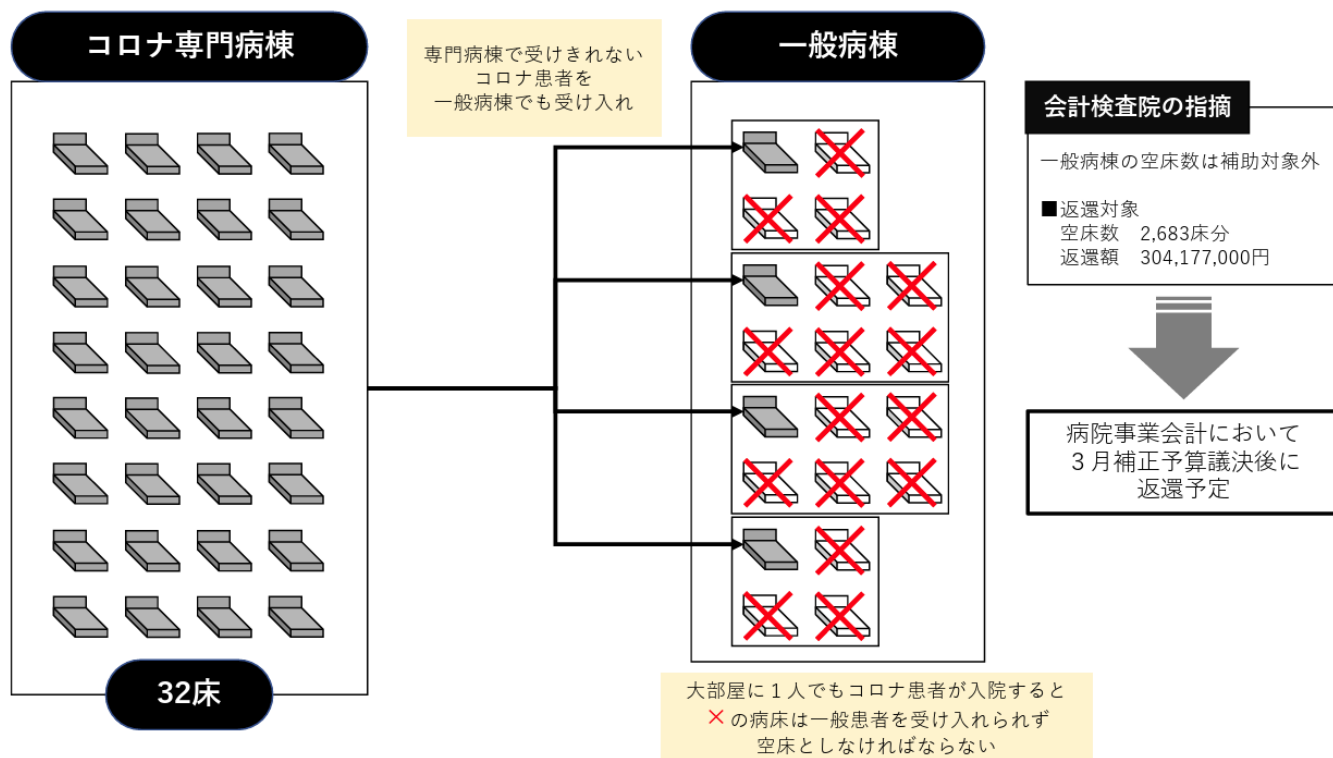
- 専門病棟が満床時は一般病棟でもコロナ患者を受け入れていたが、会計検査院は一般病棟の大部屋は補助対象外と判断した。
- 会計検査院の現地検査は令和6年3月に実施され、返還の公表が遅れた。

■今後の対応

今後は県と調整し、令和8年市議会3月定例会で補正予算を提案し、議決後に返還予定。

補助金事務も引き続き関係機関と調整し適切に対応する。

新型コロナウイルス感染症緊急支援交付金（医療分）の会計検査院指摘内容



健康増進に向けた新たな取組

前市長が推進していた健康増進施設の整備については、計画の方向性が見直されました。また、イオンタウンや小田原箱根商工会議所など4者による「いのち輝くまちづくり構想4者研究会」による「小田原ウェルネス・リビング」構想も、現在のところ進展が見られていません。

そのため、市は健康増進対策として、ハード面ではなくソフト面を公民連携で推進する方針に転換しました。以下に、その概要をまとめます。

■本市の健康課題

- 市民の健康寿命延伸を目標に推進中。
- 脳血管疾患や心疾患など循環器系疾患の死亡率が高く、高血圧症対策が重要。
- これまで健診受診率向上や食習慣改善などを実施してきたが、今後は「運動習慣の促進」に注力。

■社会環境の変化

- 市内のジム・フィットネス等の運動施設が約60施設に増加。
- 企業の「健康経営」推進が進み、従業員の健康意識向上や運動のきっかけづくりに寄与。
- 小田原医師会による運動処方（梅風プロジェクト）で運動療法の効果が確認され、今後も運動処方ができる医師や施設の拡充を検討。

■公民連携による健康増進環境づくり

- 市が主体となり、医療関係者や運動施設と連携し「新たな健康増進環境」を形成。
- 市民の健康意識向上を目指し、多様な主体が協力する公民連携事業を推進。

■運動施設等との連携

- 運動処方を組み込んだ「健康増進施設」モデル事業を実施し、段階的に市域へ拡大。
- 医療と連携した質の高い運動環境の整備を目指す。

■健康ウォークの推進

- 市内の豊かな自然や観光資源を活かしたウォーキングコースを活用。
- 運動処方の考え方に基づく健康ウォークを普及

し、運動の楽しさやリフレッシュ感を体験できる指導を検討。

■地域保健事業との連携

- 民間運動施設と連携し、運動の継続性や定着を推進。
- 0次予防（習慣化）まで視野に入れた保健事業を展開。

■連携協定の締結

小田原医師会、常葉大学、小田原市の3者で連携協定を締結し、役割分担のもと事業を推進。

■今後のスケジュール（予定）

令和7年10月以降：連携協定締結、モデル事業推進
令和8年1月：市健康増進計画推進委員会へ報告
令和8年3月：国庫補助金申請

ウォーキング再開など

コロナ禍や猛暑を理由にしばらく中断していたウォーキングを再開しました。60歳になり代謝が落ちているかもしれませんが、開成町の先輩から購入している米「はるみ」が美味しく、これまで夕食で米を控えていた生活から糖質摂取が増えました。その結果、体重も増加傾向にあり、晩酌を週3日はノンアル&ノン糖質&ノンカロリービールに切り替えましたが、体重の改善はみられません。

ウォーキングを中断していた理由の一つは、靴が合わずつま先が痛くなってしまい、距離を伸ばせなかったことです。新しい靴を購入したところ、つま先の痛みがなくなり快適に歩けるようになりました。

現在は3.4kmのコースを30分弱で歩いており、適度な汗をかいて体調も非常に良くなりました。以前は05:30～06:00の時間帯にウォーキングしていましたが、駅頭配布の時間と重なるため、12:00～12:30に変更しました。これで休む口実も減らせそうです。

今のところ人間ドックなどで大きな変化はありませんが、問診時に運動習慣を改めたことが評価され、血圧や脂質の改善に期待しています。

皆さんもウォーキングを始めてみませんか。

■お知らせ■

1月の月刊武松の発行は都合により中止します。



公式HP
月刊武松パナパナー他



X(twitter)
防災・感染症情報



facebook
日々の情報など



ごみ処理広域化
実施計画



新しい学校づくり
施設整備指針